

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対策について（スピード競技）

本ガイドラインは、JSF ガイドラインを基に協議会を運営するうえで、青森県スケート連盟が関係部局（県中体連を含む）の指示を仰ぎながら「感染拡大防止」に取り組むためのものである。

【すべての関係の皆様へ】

感染防止のために主催者が決めた措置の遵守、指示に従うこと。
従わない場合は施設からの退場をお願いすることがある。

【選手の皆さんへ】

- ① 新型コロナウイルス感染対策に万全を期するため、以下の事項に該当する者は参加させないものとする。
 - ア 体温が37.5℃以上ある場合（過去2週間にわたり検温を実施すること）
 - イ 咳や咽頭痛、風邪の症状、味覚・嗅覚障害、倦怠感等、感染が疑われる症状がある場合
 - ウ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合
 - エ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - オ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
- ② 当日、37.5度を超える発熱の場合は会場へ入場できない。
- ③ マスクを必ず持参し、施設内では必ず着用すること。
※レース・ウォーミングアップ等、運動するとき以外は必ずマスクを着用すること。
- ④ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- ⑤ 他の参加者、主催者スタッフ、観客らとの距離（できるだけ2m以上）を確保すること。
- ⑥ ごみは極力持ち帰ること。
- ⑦ 組織的な応援は避け、応援は拍手や声援等、配慮すること。
- ⑧ 感染防止のために、各競技及び各会場の特性に応じたその他の措置を遵守すること。
- ⑨ 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。
- ⑩ 競技に際して、次の事項について遵守すること
 - ア ウォーミングアップやダウンは各自で行い、集団では行わない。
 - イ 招集では各自でアームバンドを装着し、返却する。
 - ウ レース終了後は速やかにリンクから上がる。
 - エ 控室は、更衣のみに使用し長居しない。
 - オ スケート靴脱着用椅子では隣の競技者との距離をとって座る。

【監督・コーチの皆さんへ】

- ① 新型コロナウイルス感染対策に万全を期するため、以下の事項に該当する者は参加させないものとする。
 - ア 体温が37.5℃以上ある場合（過去2週間にわたり検温を実施すること）
 - イ 咳や咽頭痛、風邪の症状、味覚・嗅覚障害、倦怠感等、感染が疑われる症状がある場合
 - ウ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合
 - エ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - オ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合

- ② マスクを必ず持参し、施設内では必ず着用すること。
- ③ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- ④ 他の参加者、主催者スタッフ、観客らとの距離（できるだけ2m以上）を確保すること。
- ⑤ ごみは極力持ち帰ること。
- ⑥ 極力大声を出してのコーチングはしない。
- ⑦ 感染防止のために、各競技及び各会場の特性に応じたその他の措置を遵守すること。
- ⑧ 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。

【競技役員の皆さんへ】

- ① 当日朝、必ず検温すること。
ア 当日、37.5度を超える発熱の場合は役員業務はできない。
イ 以下事項に該当する場合は、自主的に入場を見合わせること。
 - ・体温が37.5℃以上ある場合（過去2週間にわたり検温を実施すること）
 - ・咳や咽頭痛、風邪の症状、味覚・嗅覚障害、倦怠感等、感染が疑われる症状がある場合
 - ・新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合
 - ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
- ② マスクを必ず持参し、施設内では必ず着用すること。
- ③ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- ④ 選手や、主催者スタッフ、観客らとの距離（できるだけ2m以上）を確保すること。
- ⑤ 役務に際しての留意事項
ア アシスタントスターターコール（招集）は名前を確認し、アームバンドは選手が各自持っていく、各自が戻す。装着依頼があった場合はビニール手袋を着用する。
イ マニュアルタイムキーパーは相互の距離を確保する工夫を行う。
ウ 密にならないようにそれぞれの担当者が選手に呼びかける。
エ 必要に応じて、フェイスマスク、ビニール手袋等を使用すること。
- ⑥ 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。

【報道関係の皆様へ】

- ① 当日朝、必ず検温すること。
ア 当日、37.5度を超える発熱の場合は入場できない。
イ 以下事項に該当する場合は、自主的に入場を見合わせること。
 - ・体温が37.5℃以上ある場合（過去2週間にわたり検温を実施すること）
 - ・咳や咽頭痛、風邪の症状、味覚・嗅覚障害、倦怠感等、感染が疑われる症状がある場合
 - ・新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合
 - ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
- ② マスクを必ず持参し、施設内では必ず着用すること。
- ③ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- ④ 選手や、主催者スタッフ、観客らとの距離（できるだけ2m以上）を確保すること。
- ⑤ 選手エリア（更衣室、地下通路、中地）への立ち入りはできない。

- ⑥ 撮影エリアは、第1カーブ外側のみとする。
- ⑦ 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。

【観客の皆様へ】

- ① 当日朝、必ず検温すること。
 - ア 当日、37.5度を超える発熱の場合は入場できない。
 - イ 以下事項に該当する場合は、自主的に入場を見合わせること。
 - ・体温が37.5℃以上ある場合（過去2週間にわたり検温を実施すること）
 - ・咳や咽頭痛、風邪の症状、味覚・嗅覚障害、倦怠感等、感染が疑われる症状がある場合
 - ・新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合
 - ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
- ② マスクを必ず持参し、施設内では必ず着用すること。
- ③ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- ④ 許可を得た方以外は1階には立ち入りできない。
- ⑤ スタンドで観戦する場合は、他の方と前後左右1つ以上の椅子を空けて着席すること。
- ⑥ 観戦の際は、大声での応援はしない。
- ⑦ 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。

【その他】

- ①大会関係者、選手向けのチェックシート（別紙）を用い、体調の確認を行う。
- ②新型コロナウイルス感染状況の推移や緊急事態宣言の発令等の場合によっては、急遽、予定の変更や競技が中止になる場合もある。